

ヤモリ

下の写真は、17日に来校した珍客です。



「家を守るから“家守”(ヤモリ)で爬虫類、池を守るから“い守”(イモリ)で両生類」中学校の時にそう覚えていました。珍客は、従来のイメージする肌の色や模様ではなく、アルビノ種(遺伝的に色素のうすい)なのかなと思うほどに。ヤモリは、家に現れると家や家族を守る守護神と言われ、幸運の象徴として“縁起が良い”とされています。その理由は、ヤモリがゴキブリなどの害虫を食べてくれる「益虫」であることと子宝や子孫繁栄の象徴でもあることのようです。改めて調べてみると、珍しいアルビノ種のヤモリは金運がアップする象徴というではありませんか。私には珍客がその象徴にしか見えません。さらに記述を読むと、「短時間に濃褐色から淡灰色まで著しく変化する」とありました。ひょっとして、淡灰色に変化していただけと落胆するや盛り上げて「アルビノ種だから“縁起が良い”。」と思い込んでいます。きっと運気が上がるはずです。

耳を澄ますと「讃えよ大地をあーー」と音階の上がる部分の歌声が飛び込んできました。26日(金)には音楽祭が行われます。各クラスが練習に励んでいるところに顔を出してきました。パート練習をする、全体を合わせる、細かく刻んで練習する等、クラスにより方法は様々でした。スロ



ーガンは『百歌繚乱～届け僕らの歌越～』そんな表現をするには、心のつながりが必要です。

1年生は、心のつながりのために、講師をお呼びして“構成的グループエンカウンター”に取り組みました。仲間のことをよく知り、距離を近くするためのグループワークに取り組んでいます。昨年に続き、4回目となります。講師の方々の引き出しの多いこと。讃えよう!!



同日の給食に「ネギチャーハン」がでました。清瀬中に来て“ネギ”の名の付くメニューは初めてかもしれません。ネギ好きの私にとって、うれしい出来事。ひょとしたら、この時から運気が上がり始めたのかもしれません。ネギは免疫をアップする食材。疲れを吹き飛ばしてくれます。合唱練習に疲れている生徒の皆さんへの給食室からのねぎらいですかね。

これからどんな変化を見せていくのでしょうか。アルビノのように透明感のある優しい歌に仕上げるのか。それとも淡灰色から濃褐色の歌に短時間で変化させるのか。楽しみです。

演技が良いはずですから。

